

<講義コード> 5556101

<開講学部> 経済情報学部経済情報学科

2017年度

科目名	ベンチャー企業論	単位	講義区分	担当教員	高橋 陽二
		2単位	講義		
期待される学修成果	社会事情に対応する能力 能力	情報の分析に関する	ナンバリング	E11BUA201	
到達目標及びテーマ	到達目標:アントレプレナーシップに関する各トピックを理解し、日本における起業家社会のあり方について、受講者が意見を述べられるようになる。 テーマ:アントレプレナーシップとは何かを理解する。				
授業の概略	創業の状況、業種・地域別の創業、起業家、資金調達、技術とイノベーション、提携、競争戦略、成長、IPO(新規株式公開)、退出と売却、経済効果と支援政策という各トピックを理解するために、講義と事例、理解度テスト、実務家による講演を組み合わせています。				
授業計画					
第1回	ガイダンス(授業計画、評価方法の説明) なぜベンチャー企業論(アントレプレナーシップ)を学ぶのか				
第2回	創業の状況				
第3回	業種・地域別の創業				
第4回	起業家				
第5回	資金調達 理解度テスト(1):講義を通じて理解度テストを3~4回実施します。内容及び実施日は変更になる可能性があります。				
第6回	技術とイノベーション				
第7回	提携				
第8回	競争戦略				
第9回	成長 理解度テスト(2):講義を通じて理解度テストを3~4回実施します。内容及び実施日は変更になる可能性があります。				
第10回	IPO(新規株式公開)				
第11回	退出と売却				
第12回	経済効果と支援政策 理解度テスト(3):講義を通じて理解度テストを3~4回実施します。内容及び実施日は変更になる可能性があります。				
第13回	ベンチャー企業や支援政策担当者などの実務家による講演(1) *講演テーマや実務家の都合によって開催時期は変更の可能性があります。				
第14回	ベンチャー企業や支援政策担当者などの実務家による講演(2) *講演テーマや実務家の都合によって開催時期は変更の可能性があります。				
第15回	まとめ:起業家社会に向けて				
	定期試験				
事前学修	2時間	教科書の該当箇所を読み、予備知識を得ておく。			
事後学修	2時間	理解が不十分であった点などを確認し、同様の課題や問題に対応できるようにしておく。			
成績評価方法	割合	評価基準等			
定期試験	60 %	講義で扱った内容について理解しているかどうかを試す問題を出題する。			
レポート	20 %	実務家による講演に対してレポート課題を課す。			
上記以外の試験、平常点評価	20 %	理解度テストを実施する。			
教科書	本庄裕司『アントレプレナーシップの経済学』同友館、2010年 (ISBN: 4496047241)				
参考資料	教員のHPを参考にしてください(URL: https://sites.google.com/site/jyakayoji/)。				

(この書式はシラバスとセットにします)

岐阜聖徳学園大学 ベンチャー企業論の受講を希望するコンソーシアム加盟校の学生に向けて

後学期授業期間	2017年9月28日から、2018年1月18日まで
時間割	毎週木曜日 4時限目 14時50分開始 16時20分終了
授業の回数	15回
初回の授業日	2017年9月28日
備考	初回以降の授業のお知らせは学内の掲示板で行います。

授業が受けられる教室

対面授業の教室（実際の教室）	
キャンパス	岐阜キャンパス
教室	3号館 333 講義室
住所	岐阜市柳津町高桑西1-1
地図	
交通アクセス	名鉄岐阜駅前(1番のりば)発→JR岐阜駅(6番のりば)経由→岐阜キャンパス(最寄停留所:六条大溝町) 名鉄岐阜駅前(2番のりば)発→JR岐阜駅(4番のりば)経由→岐阜キャンパス(最寄停留所:東鷺または岐阜保健短大前)
備考	

授業を開設する大学について

ホームページ	http://www.shotoku.ac.jp/
授業についての質問はこちらへ	羽島教務課 (058-279-3493)